

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-116519

(P2009-116519A)

(43) 公開日 平成21年5月28日(2009.5.28)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
G06F 17/21 (2006.01)	G06F 17/21 538A	5B009
B42D 15/00 (2006.01)	G06F 17/21 590J	5B109
	G06F 17/21 586A	
	B42D 15/00 301G	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2007-287384 (P2007-287384)	(71) 出願人	507365329 株式会社ネットプレナー 東京都新宿区新宿2-14-4-1101
(22) 出願日	平成19年11月5日 (2007.11.5)	(74) 代理人	100079049 弁理士 中島 淳
		(74) 代理人	100084995 弁理士 加藤 和詳
		(74) 代理人	100085279 弁理士 西元 勝一
		(74) 代理人	100099025 弁理士 福田 浩志
		(72) 発明者	熊谷 智幸 東京都新宿区新宿2-14-4-1101 株式会社ネットプレナー内
		Fターム(参考)	5B009 QA06 TB03 VA03 5B109 QA06 TB03 VA03

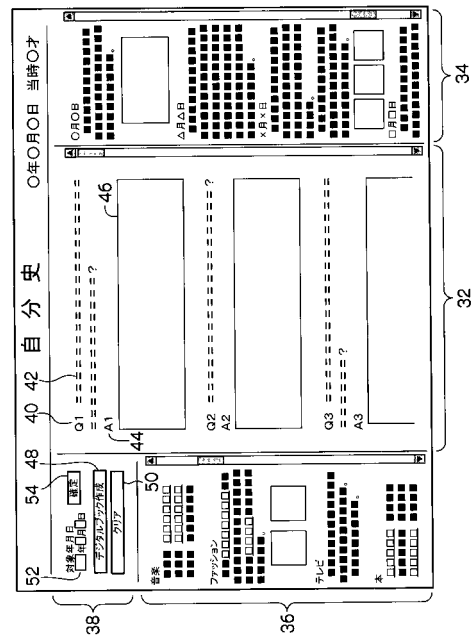
(54) 【発明の名称】 自分史制作装置

(57) 【要約】

【課題】 記述する楽しみを損なわないで自分史制作を行えるように自分史制作を支援し、「生きた証」を永遠に残し、後世へ伝えていくこと。

【解決手段】 クライアントPC12から自分史を記述する対象である対象日付を受信し、ユーザIDと生年月日とからなる生年月日テーブルを参照して、ログイン時のユーザIDから生年月日を取得する。受信した対象日付と取得した生年月日とから、対象日付におけるユーザの年令を算出し、年令に対応した質問をHDD26に記憶された質問テーブルから検索する。HDD26に記憶された年月日と時事情報とからなる時事情報テーブル及び年月日と流行情報とからなる流行情報テーブルを参照して、対象日付を含む所定期間内の時事情報及び流行情報を抽出し、抽出した時事情報及び流行情報と年月日とを対応させた年表を生成する。検索した質問事項、及び生成した年表をクライアントPC12へ送信して、同一画面上に表示させる。

【選択図】 図7



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

自分史を記述する対象となる対象日付、及びユーザの識別情報を端末装置から受信する受信手段と、

年代別の時事情報、年代別の流行情報、ユーザの識別情報に対応した生年月日、及び自分史の記述を支援するための年令別に区分した質問事項を記憶した記憶手段から、前記受信手段により受信した前記対象日付を含む所定期間内の前記時事情報及び前記流行情報を抽出して、抽出した前記時事情報及び前記流行情報と年月日とを対応させた表を生成する表生成手段と、

前記ユーザの識別情報に基づいて前記記憶手段から前記ユーザの生年月日を検索し、検索した前記生年月日と前記受信手段により受信した前記対象日付とから、前記対象日付における前記ユーザの年令に対応した前記質問事項を検索する検索手段と、

前記端末装置の画面上に前記表生成手段により生成された前記表、及び前記検索手段により検索された前記質問事項が表示されるように、前記端末装置へ前記表及び前記質問事項を送信する送信手段と、

を含む自分史制作装置。

【請求項 2】

前記送信手段により送信した前記質問事項に対する回答を前記端末装置から受信する回答受信手段と、

前記回答受信手段により受信した前記回答を所定のフォーマットに当てはめて自分史を示すデジタルブックを生成するデジタルブック生成手段と、

を更に含む請求項 1 記載の自分史制作装置。

【請求項 3】

前記デジタルブック生成手段は、前記回答を前記所定のフォーマットに当てはめる際に、前記回答の解析を行い、解析した前記回答を自然な日本語へ変換する自動自然言語解析処理を施す、

請求項 1 または請求項 2 記載の自分史制作装置。

【請求項 4】

コンピュータを、

請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項記載の自分史制作装置を構成する各手段

として機能させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、自分史制作装置及びプログラムにかかり、特に、自分史の記述を支援する自分史制作装置及びプログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

近年、自分の生きてきた証を残すため、自己の生い立ちや経歴を記した自分史を制作することが行われている。

【0003】

しかし、一から自分史を書き始めようとしても、何から書き始めてよいかわからない場合もあり、また、幼少の頃の記憶など昔の記憶は曖昧になっている場合が多い。

【0004】

そこで、YES / NO 形式で答える質問や選択肢から回答を選択させる質問をユーザに提示し、ユーザの回答を雛型文章に挿入して自分史を作成する自分史本出版方法が提案されている（例えば、特許文献 1）。

【特許文献 1】特開平 11 - 353308

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

10

20

30

40

50

【0005】

しかしながら、特許文献1の方法では、該当する選択肢がない場合などには、回答が制限されてオリジナリティに欠ける場合があり、また、用意された選択肢を選択するだけでは、自分史を記述するという楽しみも薄れてしまう、という問題がある。

【0006】

本発明は、上記目的を解決すべくなされたもので、記述する楽しみを損なわないで自分史制作を行えるように自分史制作を支援することができる自分史制作装置を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明の自分史制作装置は、自分史を記述する対象となる対象日付、及びユーザの識別情報を端末装置から受信する受信手段と、年代別の時事情報、年代別の流行情報、ユーザの識別情報に対応した生年月日、及び自分史の記述を支援するための年令別に区分した質問事項を記憶した記憶手段から、前記受信手段により受信した前記対象日付を含む所定期間内の前記時事情報及び前記流行情報を抽出して、抽出した前記時事情報及び前記流行情報と年月日とを対応させた表を生成する表生成手段と、前記ユーザの識別情報に基づいて前記記憶手段から前記ユーザの生年月日を検索し、検索した前記生年月日と前記受信手段により受信した前記対象日付とから、前記対象日付における前記ユーザの年令に対応した前記質問事項を検索する検索手段と、前記端末装置の画面上に前記表生成手段により生成された前記表、及び前記検索手段により検索された前記質問事項が表示されるように、前記端末装置へ前記表及び前記質問事項を送信する送信手段と、を含むものである。

10

20

【0008】

本発明の自分史制作装置によれば、受信手段は、ユーザが端末装置から指定した自分史を記述する対象となる対象日付、及びユーザの識別情報を受信する。ユーザの識別情報とは、例えば、自分史制作サイトへログインするためのユーザIDや使用している端末装置を識別するための固有番号等である。

【0009】

表生成手段は、年代別の時事情報、及び年代別の流行情報を記憶した記憶手段から、受信した対象日付を含む所定期間内の時事情報及び流行情報を抽出して、抽出した時事情報及び流行情報と月日とを対応させた表を生成する。

30

【0010】

また、ユーザの識別情報に対応した生年月日、及び自分史の記述を支援するための年令別に区分した質問事項が記憶された記憶手段から、検索手段は、ユーザの識別情報に基づいてユーザの生年月日を検索し、検索した生年月日と受信手段により受信した対象日付とから、対象日付におけるユーザの年令に対応した質問事項を記憶手段から検索する。なお、記憶手段は、本発明の自分史制作装置自体に設けてもよいし、ネットワークで接続された外部のサーバに設けてもよい。

【0011】

送信手段は、端末装置の画面上に表生成手段により生成された表、及び検索手段により検索された質問事項が表示されるように、端末装置へ表及び質問事項を送信する。

40

【0012】

このように、自分史を記述する対象となる対象日付を含む所定期間の時事情報及び流行情報と、対象日付におけるユーザの年令に対応した質問事項がユーザの端末装置に表示されるため、ユーザは当時の時事情報及び流行情報を参照しながら、当時の年令に対応した質問事項に回答することにより自分史を記述することができる。

【0013】

また、本発明の自分史制作装置は、前記送信手段により送信した前記質問事項に対する回答を前記端末装置から受信する回答受信手段と、前記回答受信手段により受信した前記回答を所定のフォーマットに当てはめて自分史を示すデジタルブックを生成するデジタル

50

ブック生成手段と、を更に含むものである。

【0014】

本発明の自分史制作装置の回答受信手段は、質問事項に対する回答をユーザの端末装置から受信し、デジタルブック生成手段は、受信した回答を所定のフォーマットに当てはめて自分史を示すデジタルブックを生成するので、ユーザは、質問事項に対する回答を送信するだけで、自分史を示すデジタルブックが生成されるため、容易な操作で自分史を示すデジタルブックを制作することができる。

【0015】

また、本発明の前記デジタルブック生成手段は、前記回答を前記所定のフォーマットに当てはめる際に、前記回答の解析を行い、解析した前記回答を自然な日本語へ変換する自動自然言語解析処理を施すようにすることができる。

10

【0016】

デジタルブック生成手段は、回答を所定のフォーマットに当てはめる際に、回答の解析を行い、解析した回答を自然な日本語へ変換する自動自然言語解析処理を施すため、回答の入力スタイルにとらわれることなく、自然な自分史を制作することができる。

【0017】

また、本発明のプログラムは、コンピュータを、上記自分史制作装置を構成する各手段として機能させるためのものである。

【発明の効果】

【0018】

以上説明したように本発明によれば、記述する楽しみを損なわないで自分史制作を行えるように自分史制作を支援することができる、という効果が得られる。

20

【発明を実施するための最良の形態】

【0019】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【0020】

本実施の形態では、SNS (Social Network Service) 型のウェブサイトのコンテンツの1つとして自分史制作サイトを提供する自分史制作システムに本発明の自分史制作装置を適用した場合について説明する。

【0021】

30

図1に示すように、本実施の形態に係る自分史制作システム30は、ウェブ上のコンテンツとして自分史制作サイトを提供する自分史制作装置としてのウェブサーバ10、及びコンテンツ内容の表示や自分史の入力等を行うための複数のクライアントPC (パーソナルコンピュータ) 12で構成され、ウェブサーバ10及びクライアントPC 12は、インターネット等のネットワーク14を介して相互に接続されている。また、ネットワーク14には、出版社のサーバ16や店舗のサーバ18も接続されており、ウェブサーバ10を介して自分史を印刷して製本したアナログ本の出版を行ったり、後述する自分史制作サイトの年表に関連する商品等の購入を行ったりすることができる。

【0022】

図2は、ウェブサーバ10の構成を示すブロック図である。ウェブサーバ10は、後述する自分史制作の処理ルーチン等の各種プログラムやパラメータ等が記憶された記憶媒体としてのROM 20、各種プログラムを実行するCPU 22、CPU 22による各種プログラムの実行時におけるワークエリア等として用いられるRAM 24、時事情報、流行情報、及び質問事項等を記憶した記憶手段としてのHDD 26、ネットワーク14と接続するためのネットワークインタフェース28、及びこれらを相互に接続するためのバスBUSが設けられている。なお、HDD 26はネットワーク14に接続されたサーバ等の外部装置に設けてもよい。

40

【0023】

図3～図5を参照して、本実施の形態の自分史制作の処理ルーチンについて説明する。

【0024】

50

ステップ100で、SNS型のウェブサイトユーザがログインしたか否かを判断する。クライアントPC12に表示されたログイン画面に入力された所定のユーザID及びパスワード等を受信し、HDD26に記憶されたユーザIDとパスワードとからなる認証テーブルと照合して認証を行い、認証に成功した場合は、肯定されてステップ102へ進む。ユーザID等を受信しない場合は、受信するまで待機し、認証に失敗した場合は、成功するまで繰り返す。

【0025】

ステップ102で、ウェブサイトの中から自分史制作コンテンツを選択する信号を受信したか否かを判断することにより、自分史制作コンテンツが選択されたか否かを判断する。選択された場合は、ステップ104へ進み、選択されない場合は、ステップ122へ進む。

10

【0026】

ステップ104で、自分史制作コンテンツの初期画面として、自分史を記述する対象である対象日付を入力するための画面を表示するデータをクライアントPC12に送信し、入力画面をクライアントPC12に表示させる。

【0027】

次に、ステップ106で、クライアントPC12の入力画面から入力された対象日付を示す信号を受信したか否かを判断する。ユーザが初期画面に対象日付を入力して、確認ボタンをクリックする等によってクライアントPC12から送信した対象日付を示す信号を受信した場合は、ステップ108へ進み、受信しない場合は、ステップ120へ進む。

20

【0028】

ステップ108で、HDD26に記憶されたユーザIDと生年月日とからなる生年月日テーブルを参照して、ログイン時のユーザIDに対応した生年月日を取得する。生年月日は初回ログイン時にその他の必要事項と共に登録されている。

【0029】

次に、ステップ110へ進んで、ユーザによる自分史記述を支援するための質問事項を検索する質問事項検索処理を実行する。

【0030】

図4に、質問事項検索処理の処理ルーチンのフローチャートを示す。

【0031】

ステップ200で、受信した対象日付と取得した生年月日とから、対象日付におけるユーザの年令を算出し、次のステップ202で、HDD26に記憶された図5に示すような、年令、状況、質問番号、及び質問からなる質問テーブルを参照して、算出した年令に対応した状況を推定する。状況は例えば、0～5才は「小学校入学前」、6～12才は「小学校」、13～15才は「中学校」等のように年令別に区分されている。

30

【0032】

次に、ステップ204へ進んで、質問テーブルを参照して、推定した状況に対応した質問を検索する。例えば、状況が「小学校」の場合には、「小学校の先生はどんな先生でしたか？」や「小学校の時、どんな友達がいましたか？」等、状況に対応した質問が複数用意されている。検索された質問にQ1～Qnの通し番号を付与して一端RAM24へ記憶し、処理を終了してリターンする。

40

【0033】

次に、図3のステップ112へ進んで、自分史を記述する際に参照するための年表を生成する年表生成処理を実行する。

【0034】

図6に、年表生成処理の処理ルーチンのフローチャートを示す。

【0035】

ステップ300で、HDD26に記憶された年月日と時事情報とからなる時事情報テーブルを参照して、対象日付を含む所定期間内、例えば対象日付の前後1～2年内の時事情報を抽出し、次のステップ302で抽出した時事情報と年月日とを対応させた表を生成す

50

る。

【0036】

次にステップ304で、HDD26に記憶された年月日と流行情報とからなる流行情報テーブルを参照して、対象日付を含む所定期間内の流行情報を抽出する。流行情報は月日まで特定することが困難な場合もあるので、対象日付の年と流行情報テーブルの年月日の年が一致するものを抽出するようにしてもよい。

【0037】

次に、ステップ306で、抽出した流行情報を、例えば音楽、ファッション、テレビ、及び本等の分野別に分類し、次のステップ308で、分野毎に分類した流行情報と年月日とを対応させた表を生成して、リターンする。ステップ302及びステップ308で生成した表を合わせて年表と称する。

【0038】

次に、図3のステップ114へ進んで、ステップ110で検索した質問事項、及びステップ112で生成した年表をクライアントPC12へ送信して、クライアントPC12の同一画面上に表示させる。図7にクライアントPC12に表示される自分史記述のための表示画面の一例を示す。表示画面は、質問及び回答入力用のテキストボックス46を表示するQ&A領域32と、時事情報を表示する時事情報領域34と、流行情報を表示する流行情報領域36と、対象日付や後述するデジタルブック作成を指示するためのボタンを表示する指示入力領域38とを有する。

【0039】

Q&A領域32には、検索された質問の通し番号40、質問42、質問の通し番号に対応して付された回答番号44、及び回答入力用のテキストボックス46が隣接して表示される。時事情報領域34には、年月日順に時事情報が表示され、テキストデータだけでなく、写真やイラストなどの静止画やニュース映像などの動画も表示される。流行情報領域36には、流行情報が分野ごとに表示される。時事情報と同様に、静止画や動画も表示される。

【0040】

ユーザは、時事情報領域34及び流行情報領域36に表示された情報を参照しながら、年令に対応した質問に対する回答をQ&A領域32のテキストボックス46へ入力する。また、流行情報領域36に表示された音楽の曲名やファッションの商品名等のテキストまたは画像部分にはリンクが設定されており、該当部分をクリックすることにより関連サイトを参照して音楽をダウンロードしたり、商品を購入したりすることもできる。

【0041】

次に、ステップ116へ進んで、質問に対する回答を受信したか否かを判断する。ユーザが、図7に示す表示画面の指示入力領域38のデジタルブック作成ボタン48をクリックすることにより、回答番号とテキストボックス46に入力された回答とが対応付けられたデータがウェブサーバ10へ送信される。ウェブサーバ10は、回答番号と回答A1～Anとが対応付けられたデータを受信する。受信した場合は、ステップ118へ進み、デジタルブックを作成する処理を実行する。受信していない場合は、受信するまで待機する。なお、指示入力領域38のクリアボタン50を押下すると、テキストボックス46に入力された内容がクリアされる。

【0042】

図8に、デジタルブック作成の処理ルーチンのフローチャートを示す。

【0043】

ステップ400で、カウンタ値tに「1」をセットして、次のステップ402へ進み、質問の通し番号n=tの質問、すなわち質問Q1の質問番号をRAM24から取得する。次のステップ404で、図5の質問テーブルを参照して、取得した質問番号に対応する状況を取得する。

【0044】

次に、ステップ406へ進んで、質問Q1に対応する回答A1をデジタルブックのフォ

10

20

30

40

50

フォーマットの質問に対応する状況に応じた所定箇所に挿入する。デジタルブックのフォーマットは、図9に示すように、状況毎の項目に分類され、状況に対応する回答を挿入する回答挿入領域56が設けられている。例えば、質問Q1の質問番号が「4」で、状況が「小学校入学前」に該当する場合には、フォーマットの小学校入学前の項目の回答挿入領域56Aに回答A1が挿入される。また、質問Q1の質問番号が「21」で、状況が「小学校」に該当する場合には、フォーマットの小学校の項目の回答挿入領域56Bに回答A1が挿入される。同じ状況に区分される回答が複数ある場合は、回答に対応する質問の質問番号順に並ぶように挿入される。

【0045】

また、質問内容によっては、所定の定型文をフォーマットに設けておく。定型文が設けられたフォーマットへ回答を挿入する際は、回答の内容を単語毎に分割し、分割した単語毎に品詞を解析したり、出現頻度や相関関係などを解析したりして、フォーマットの定型文に当てはめるときに自然な日本語となるように変換する自動自然言語解析処理を施す。フォーマットの定型文や解析に必要なデータは、記憶手段としてのHDD26に記憶されており、解析のためのプログラムは、記憶媒体としてのROM20に記憶されている。

10

【0046】

例えば、「中学生の頃、楽しかったことは？」という質問に対して、「中学生の頃、『
』が楽しかったです。」というフォーマットが設けられており、回答が「運動会が
楽しかったです。」であった場合に、そのまま回答を挿入すると、「中学生の頃、『運動
会が楽しかったです。』が楽しかったです。」となってしまうが、自動自然言語解析処理
を施すことにより、「中学生の頃、『運動会』が楽しかったです。」とすることができる
。すなわち、回答文の中には、質問に対する名詞で表される回答が含まれているので、定
型文を「いつ、
が、どうした。」形式の文書で記載しおき、回答から「
」部
分（空白部分）に挿入すべき名詞を抽出して空白部分に挿入することにより文書
を作成する。

20

【0047】

次に、ステップ408へ進んで、カウンタ値tが通し番号nの最大値になったか否かを判断することにより、全ての回答の挿入が終了したか否かを判断する。まだ終了していない場合には、ステップ410へ進んで、カウンタ値tをインクリメントしてステップ402へ戻って、処理を繰り返す。

30

【0048】

全ての回答についてフォーマットへの挿入が終了した場合には、ステップ412へ進んで、回答が挿入されたフォーマットに、ユーザIDや作成日時等の情報を付与してデジタルブックを作成（既に作成したデジタルブックが存在する場合は更新）して保存し、リターンする。

【0049】

次に、図3のステップ120へ進んで、自分史制作コンテンツ以外の他のコンテンツを選択する信号を受信したか否かにより、他のコンテンツが選択されたか否かを判断する。他のコンテンツが選択された場合には、ステップ122へ進んで、他の処理を実行して、ステップ126へ進む。ここで、他の処理とは、SNSサイトのユーザとして登録されている他のユーザにメールを配信するメール配信機能や、出身地や共通の趣味等をテーマとして複数のユーザ同士がウェブ掲示板を利用して仲間（サークル）を形成する仲間構築機能等を実現するための処理であり、これらは周知の処理であるため、説明を省略する。

40

【0050】

他のコンテンツが選択されない場合には、ステップ124へ進んで、ログアウトしたか否かを判断し、ログアウトしない場合には、自分史制作コンテンツが選択されたままの状態であるので、ステップ106へ戻って、対象日付を示す信号を受信したか否かを判断する。ここでは、ユーザが図7に示す表示画面の対象日付入力領域52に対象日付を入力し、確定ボタン54をクリックすることにより送信される対象日付を示す信号を受信したか否かで判断し、以下のステップの処理を繰り返す。

50

【0051】

ステップ124及びステップ126で、ログアウトしたと判断した場合には、処理を終了する。

【0052】

このように、ユーザは、記述しようとしている年代の時事情報及び流行情報を参照して、過去の記憶をたどりながら当時の年令に対応した質問に回答していくことで自分史を記述することができるため、ユーザの記述する楽しみを損なわず自分史制作を支援することができる。

【0053】

また、記述した自分史は、ボタンを1つクリックするだけの操作でデジタルブック（電子ブック）として生成されて閲覧可能となるため、ユーザにとって手軽に自分史制作を楽しむことができる。デジタルブックとして制作した自分史は、ネットワーク14上の出版社を介して、デジタル書籍及びアナログ書籍として出版して、収益を得ることも可能である。

10

【0054】

また、ウェブサーバ10に保存された自分史をクライアントPC12で閲覧する場合には、図7のQ&A領域32にデジタルブックのデータを表示し、表示している自分史の年月日に対応する時事情報及び流行情報を時事情報領域34及び流行情報領域36に表示するようにするとよい。前述の場合と同様に、流行情報領域36に表示された音楽の曲名やファッションの商品名等のテキストまたは画像部分にリンクを設定し、閲覧者がリンクを

20

【0055】

経由して企業のサイトで商品購入等を行うことにより、リンク元サイトの主催者として広告収入を得ることもできる。さらに、各表示領域に表示された内容に関連して自動配信される広告を併せて表示するようにしてもよく、これにより、さらに広告収入を得ることが可能となり、ユーザの自分史制作の意欲を増進することができる。

【0056】

また、自分史の記述と共に、記述内容に関連する静止画や動画も掲載可能であり、掲載した静止画や動画は自分のアルバムとして、自分史制作サイトにアクセスすることによりいつでも閲覧可能であり、また、永久的に残しておくこともできる。

30

【0057】

また、自分史の公開範囲は、例えば親族のみ、知人・友人のみ、一般公開等、記述者の望む公開範囲を設定することができ、気兼ねなく自分史を記述して公開することができる。

【0058】

本実施の形態では、クライアントPC12で表示及び入力可能なウェブサイトとして自分史制作サイトを提供する場合について説明したが、携帯電話で利用可能な所謂モバイル版のサイトとして提供するようにしてもよい。

40

【0059】

また、本実施の形態では、SNS型のウェブサイトのコンテンツの1つとして、自分史制作サイトを提供する場合について説明したが、独立のサイトとして提供するようにしてもよい。

【0060】

また、本実施の形態では、対象日付当時の年令に対応した状況を、0～5才は「小学校入学前」、6～12才は「小学校」、13～15才は「中学校」等のように年令別に区分する場合について説明したが、状況はより詳細な分類としてもよいし、より簡略な分類としてもよい。また、状況を推定せず、年令と質問とを直接対応付けてもよい。

【図面の簡単な説明】

50

【 0 0 6 1 】

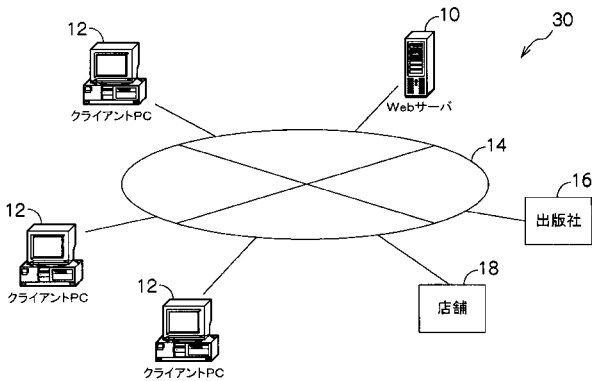
- 【 図 1 】 本実施の形態に係る自分史制作システムの概略構成図である。
- 【 図 2 】 ウェブサーバ 10 の構成を示すブロック図である。
- 【 図 3 】 自分史制作の処理ルーチンを示すフローチャートである。
- 【 図 4 】 質問事項検索の処理ルーチンを示すフローチャートである。
- 【 図 5 】 質問テーブルの一例を示す図である。
- 【 図 6 】 年表生成の処理ルーチンを示すフローチャートである。
- 【 図 7 】 自分史記述のための表示画面の一例を示す図である。
- 【 図 8 】 デジタルブック作成の処理ルーチンを示すフローチャートである。
- 【 図 9 】 デジタルブックのフォーマットの一例を示す図である。

【 符号の説明 】

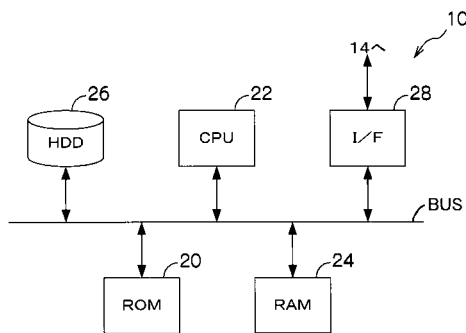
【 0 0 6 2 】

- 10 ウェブサーバ
- 12 クライアントPC
- 14 ネットワーク
- 32 Q & A 領域
- 34 時事情報領域
- 36 流行情報領域
- 48 デジタルブック作成ボタン

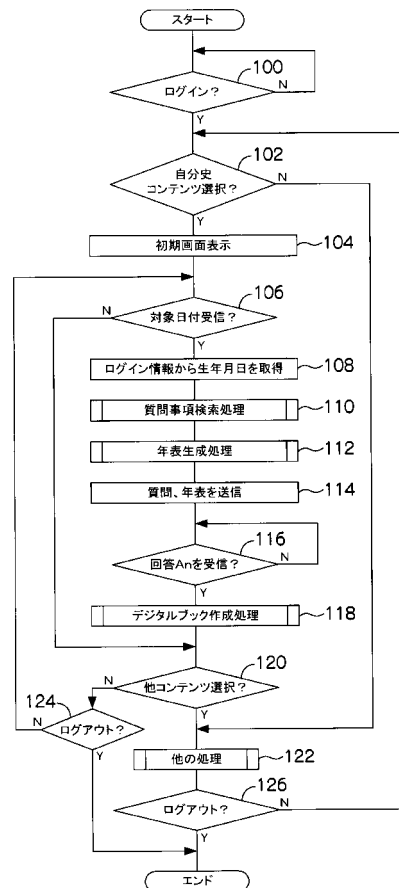
【 図 1 】



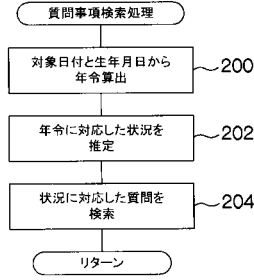
【 図 2 】



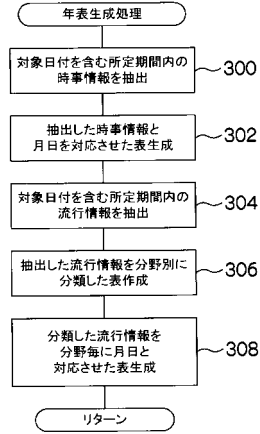
【 図 3 】



【 図 4 】



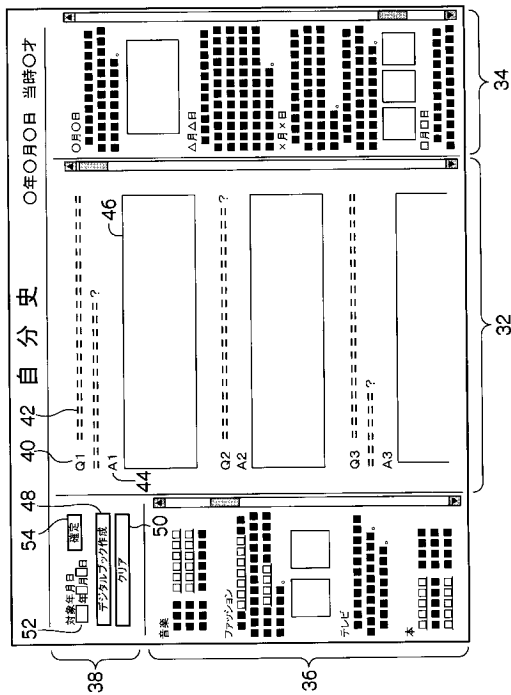
【 図 6 】



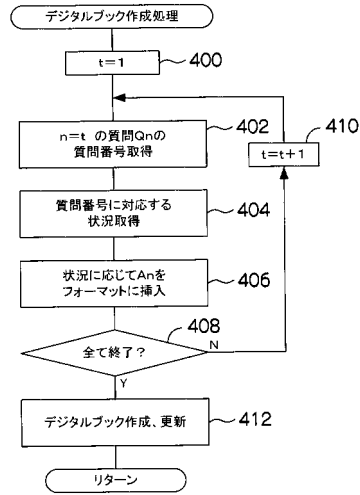
【 図 5 】

年齢	状況	質問番号	質問
0		1	生まれた時の状況は？
1	小学校 入学前	2	七五三はどこで行いましたか？
2		3	
3		4	
...		...	
6	小学校	21	小学校の先生はどんな人でしたか？ 小学校の頃、どんなお友達がいましたか？
...		22	
12	中学校	31	中学校の修学旅行はどこへ行きましたか？ 中学校の文化祭では何をしましたか？
13		32	
...
25	社会人 〇年目	71	どんな仕事をしましたか？
...

【 図 7 】



【 図 8 】



【 図 9 】

